授業科目　神経内科学

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	社会
今村　徹	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	15

【<概要>】
日本では神経内科学とも称される臨床神経学は，神経系の機能や構造を障害する疾患を扱う分野である．臨床神経学では神経系の正常機能・構造の理解に基いた論理的な思考が重要である．本科目では，神経生理学，神経解剖学の知識・論理が疾患の理解にどう役立つかを理解することを目的として，1日の授業の中で生理学・解剖学の復習から，診察・検査法の演習，そして代表的な疾患の理解にいたるまでを一連の流れとして学ぶ．

【<学習目標>】
神経疾患を逐次的に暗記することよりも，代表的ないくつかの疾患について，神経生理学・神経解剖学の知識に裏付けられた論理的な基礎的理解を得ることが目的である．

回数	授業計画又は学習の主題		学習方法・学習課題又は備考
		以下の3つの主題について3日間で計7回の集中講義を行う． 具体的な日程は改めて通知する．	担当教員：今村　徹
	末梢神経系	下位運動ニューロンと末梢神経の解剖学・生理学 神経伝導速度検査 末梢神経疾患・神経筋接合部疾患	学生を被検者とする神経伝導速度検査の演習を含む
	脊髄	上位運動ニューロン，体性感覚系と脊髄の解剖学・生理学 神経学的診察 脊髄疾患	学生同士を対象とする筋伸張反射診察の演習を含む
	脳	頭蓋内中枢神経系の解剖学 頭部MRI，MRA画像検査 脳血管障害	頭部MRI，MRA画像の読影の演習を含む

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	なし			
参考書（授業中グループに1冊貸与）	ベッドサイドの神経の診かた	田崎義明，斎藤佳雄	南山堂	1994年，7200円，ISBN:4-525-24715-0
	画像診断のための脳解剖と機能系	久留裕，真柳佳昭訳	医学書院	1995年，19000円，ISBN:4-260-13820-0
その他の資料	適宜配布する			

【評価方法】
授業中の課題と予習・復習課題の成績によって評価する．

【履修上の留意点】
9月の集中講義期間中に開講する予定である．